

硬式野球 白熱プレー

市内外の中3
高校部活備え
122人が親善試合

第13回親善少年硬式野球大会（県野球連盟主催）が10日、市民球場で開かれた。軟式野球部を引退し、高校での部活動に備えて硬式野球に取り組む市内と近隣の中学3年生が、練習の成果を発揮した。

玉野市1チーム、倉敷市2チームの122人が出場。各チームがA、Bに分かれ、総当たりのリーグ戦で戦った。順位は決めなかった。選手は、観客席の保護者から声援を受け、白熱したプレーを展開した。

市では、高校進学後



第13回親善少年硬式野球大会で、白熱したプレーを繰り広げる中学生

きるよう、市内の中学校7校と岡山市立灘中学校の3年生計39人で、9月から市少年硬式野球部として毎週土曜日に練習。玉

野高校野球部OBら
社会人が指導してい
る。

東見中学校3年松木
健太さん(15)は「一人
一人の動きが軟式とは
違うので難しい。この
経験を高校の部活動で
生かしたい」と話して
いた。(岡本遥加)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。